

主な論点（案）

1. 総論

〈これまでの主な意見等〉

（主として、社会全体の視点）

- ・ グローバル社会における新しい資本主義を実現するための人への投資の推進
- ・ 一人一人の生産性の向上と、海外からの高度人材の受入れ
- ・ 緊迫の度合いを増す国際情勢の下、日本の国益を維持・増進するための国力の向上
- ・ 国際研究ネットワークの構築や国際産学連携の推進に向けた海外留学の促進
- ・ 博士にシフトしつつある高度人材の獲得競争の激化
- ・ 優秀な留学生の日本社会への定着度向上、外国人留学生等とのネットワークの拡充・進化を通じた友好親善関係の強化
- ・ 外国人留学生の日本企業での就職促進に向けた、教育政策、雇用政策、入国管理政策の一体的な推進
- ・ 産学官を通じた高度外国人材の確保、日本の理解者・サポーターとなる人材の育成
- ・ 多様性・包摂性のある持続可能な社会の構築
- ・ 東京一極集中でなく、全国各地での取組推進、地方での人手不足解消に資する取組を通じた地方創生

（主として、人材育成の視点）

- ・ 地域の成長・発展を支える人材から世界を舞台に活躍する人材まで、厚みのある多様な人材の育成
- ・ 社会課題を自分事として捉える主体性、異文化を理解して相手の立場を理解する共感力、多様な人を巻き込める行動力の育成
- ・ 好きなことへの情熱やハングリー精神の涵養
- ・ 国際通用性のある人材輩出のための教育の推進
- ・ 多文化・多言語の学習環境による教育効果・価値の創出
- ・ 留学生の受入れによる、人材獲得（経済的なメリット）、親日派の育成（外交的なメリット）、人道的な価値の体現、国際社会への貢献
- ・ 多様な考え方や高度な知識を身に付けるための日本人学生の留学促進

2. 各論

(1) コロナ後の新たな留学生受入れ・派遣計画に向けた論点

<これまでの主な意見等>

(主として、外国人留学生受入れの視点)

- ・ 留学生から選ばれるようなソフトとハードを併せた大学自らの魅力向上
- ・ 留学生比率の低い大学学部段階や、高校段階における留学生の受入れ促進
- ・ 社会のニーズや国際動向等を踏まえた受入れ地域や分野の重点化
- ・ 大学院への進学を含めた国内定着率の向上
- ・ 国ごとのアドミッション戦略に基づく留学生の受入れの推進
- ・ 理工系に加え、日本の理解者を増やす観点からの日本社会や文化の研究など戦略的分野への支援の重点化
- ・ 経済安全保障に配慮しつつ、学部・大学院に重点を置いた理工系分野の留学生の受入れ促進
- ・ 先進国・途上国を問わない脱炭素を支える人材育成への支援
- ・ 優秀な留学生の受入れを通じた避難民の支援
- ・ 学部段階における優秀な留学生の定員枠の緩和
- ・ 高等専修学校へ留学する際の日本語能力要件の見直し
- ・ 非漢字圏の学生増や日本語能力を求める企業の実態等を踏まえた日本語教育機関における在籍期間の見直し
- ・ オンライン等を活用した渡日を必要としない入試など、渡日前入学許可の推進
- ・ シームレスな国際間の移動が可能となる修業時期の柔軟化
- ・ 受入れの質向上を図るために必要な対価の徴収としての留学生の授業料設定の柔軟化
- ・ 支援の必要な留学生への奨学金制度の在り方
- ・ 英語による授業、英語で学位取得できるコース設置推進
- ・ 日本企業を変容できるような人材育成プログラムの策定
- ・ 大学等での日本語教育の充実、すべての大学の日本語教育を担える大規模センターの設置
- ・ 専門組織の整備、生活支援からメンタルケアを含む語学力を有する対応スタッフの充実など、大学全体での留学生をサポートする体制の整備とその支援
- ・ 留学生のメンタルケアについて、多言語による相談窓口の設置など専門家への相談が可能となる体制づくりの推進
- ・ 分野が融合した活動やスタートアップを促進するキャンパス・施設や世界から優れた学生や教員を呼び込むための居住環境の充実
- ・ 留学生受入れ促進プログラムの推進

- ・ 高度人材の卵を生み出すための、オンラインの活用も含めた海外における日本語教育の推進、海外での日本学習者の増加に向けた動機付けの促進
- ・ リクルーティングから帰国後のフォローアップまで日本への留学サポート体制の実現
- ・ 銀行口座開設や不動産契約等における負荷の軽減など留学生を受け入れるための環境整備の推進
- ・ 日本独自の大学の魅力を測る指標の作成と大学評価の在り方の見直し、日本の教育ブランドの発信強化
- ・ 各国大使館・領事館におけるグッドプラクティスの共有や、現地進出企業、国際交流基金等と連携した戦略的な広報・情報発信の充実

(主として、日本人学生の海外派遣の視点)

- ・ 留学のメリットの再定義
- ・ 短期留学だけでなく、中長期での留学の促進
- ・ 意欲ある大学生・高専生の海外派遣促進
- ・ 日本人学生が留学する際の大学院等での学位取得の推進
- ・ 最先端の研究や研究成果の社会実装を目指した、理系学生をはじめとした大学院生の海外留学の促進
- ・ 産学連携による留学促進の取組強化
- ・ 女性の社会参画促進に向けた取組の推進
- ・ クォータ制の導入促進など学部を4年間で卒業できる環境の整備促進
- ・ 国や自治体の奨学金制度の拡充を含めた資金面の手当て
- ・ より多くの学生に国際教育を教授するためのオンライン教育の推進、語学習得、異文化理解等の各種プログラムの内容の体系化
- ・ 海外大学のオンライン授業の国内での単位化促進
- ・ ロールモデルとなる者やインフルエンサーによる発信を含め、SNS等を効果的に活用した留学の意義、奨学金制度の広報強化
- ・ 海外の生の声や奨学金など留学のメリットについて、情報格差・経済格差・地域格差なしにアクセスできる情報提供の促進
- ・ 在外公館におけるネットワーク形成支援の促進、在外日本企業との協働支援
- ・ JSPS、JETRO、JICA等の海外支局による大学院生等への研究支援
- ・ 教育機関や地域コミュニティを中心とした社会全体での雰囲気醸成
- ・ 初等中等教育段階での国際的な感覚の育成や英語力の強化、体験型のオンライン留学の機会の拡充
- ・ 農業を学ぶ学生等の留学・国際交流活動の推進による、我が国の農業をけん引する国際感覚を備えた人材の育成・確保

<深掘してご議論いただくポイントの例>

- ①外国人留学生等の高度専門人材としての定着率向上
 - ・企業等の採用・処遇の改善
 - ・在留資格制度の在り方
- ②海外派遣後の日本人学生の就職円滑化に向けた環境整備
 - ・就職時期や就職に関する情報提供の在り方

<これまでの主な意見等>

(主として、外国人留学生等定着の視点)

- ・ 企業における高度人材の採用促進
- ・ 留学生が活躍するための企業の環境や雇用慣行の見直し
(使用言語、残業時間の多さやヒエラルキーなどの企業文化)
- ・ 渡日前からの就業慣行や就職活動に関する情報提供
- ・ 外国人留学生の地元企業への就職・定着促進のための産学官コンソーシアムの設立、高度外国人採用・定着に係る伴走型支援
- ・ 留学生向けインターンシップの促進
- ・ 各国大使館・領事館におけるグッドプラクティスの共有や、現地進出企業、JICA等と連携した戦略的な広報・情報発信の充実【再掲】
- ・ 在外公館におけるネットワーク形成支援の促進、在外日本企業との協働支援【再掲】
- ・ 外国人留学生と地域との交流推進
- ・ 高度外国人材の在留資格制度について世界に伍する水準への改革
- ・ 高度な専門的知識や技能を身に付けた大学や専門学校卒の留学生の在留資格の見直し、配偶者などの在留資格の在り方
- ・ 非漢字圏の学生増や日本語能力を求める企業の実態等を踏まえた日本語教育機関における在籍期間の見直し【再掲】
- ・ 人道的な観点からの在留資格・法的地位の柔軟な対応

(主として、日本人学生の就職促進の視点)

- ・ 通年採用の促進など、日本人学生の海外留学後の就職円滑化のための環境整備
- ・ 海外での留学中に帰国することなくオンラインでの就職活動の促進
- ・ 海外留学後の日本人学生の就職活動の在り方の見直し
- ・ 留学を通じて得られた知識・スキル等を評価する企業におけるジョブ型人材マネジメントの推進

<深掘してご議論いただくポイントの例>

① 国内大学等の国際化の在り方

- ・ ジョイント・ディグリー及びダブル・ディグリー取得促進など海外大学との連携推進
- ・ 外国で学位を取得した教員や外国語による授業の増加
- ・ 外国人教員・学生の住環境の整備
- ・ 教育の多様化・高度化に向けた研究者交流の促進

②外国人材の活躍に向けた教育環境整備

- ・ インターナショナルスクールや日本語教育機関の在り方

③国内大学の海外分校や高専をはじめとする日本型教育の輸出

<これまでの主な意見等>

(主として、国内大学等の国際化の視点)

- ・ 多様な価値観を認め合う環境の醸成をはじめとした国内大学の国際化の促進
- ・ ジョイント・ディグリー及びダブル・ディグリーの更なる推進
- ・ 海外大学との単位互換制度、大学間交流協定締結の促進
- ・ 英語による授業、英語で学位取得できるコース設置推進【再掲】
- ・ 外国で学位を取得した教員や外国語による授業の増加、海外大学のオンライン授業を履修した際の単位認定の促進
- ・ 教育の多様化・高度化に向けた研究者交流の促進
- ・ 外国人教員・学生の住環境の整備
- ・ 初等中等教育段階での国際的な感覚の育成や英語力の強化、体験型のオンライン留学の機会の拡充【再掲】
- ・ 総合的な探究の時間等において、ギガスクール構想による端末も活用した生徒間のオンライン交流の促進
- ・ 日本人教員の留学促進
- ・ 国際バカロレアを活用した大学入試の促進
- ・ 国際通用性をもった教育手法 (DX 活用を含む) や質保証の柔軟化

(主として、外国人材の活躍に向けた教育環境整備等の視点)

- ・ 高度人材にとって魅力的な子供の教育環境の整備
- ・ 日本語力不足により学習活動に支障が生じている子供への学習支援 (JSL : Japanese as a Second Language) の取組推進
- ・ 本人・家族の日本語教育環境の充実、日本語教育機関の質向上
- ・ 地方公共団体が在留外国人に対する情報提供及び相談を行う一元的な窓口の設置促進

(その他)

- ・ 国内大学の海外の実質的な拠点 (海外分校など) の展開拡大や高専をはじめとする日本型教育の輸出